



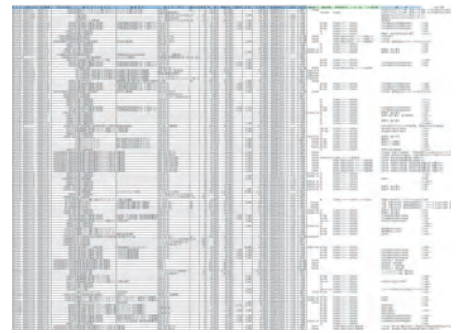
■ 既存のアプリケーションを活用し 書類管理や工程管理をDX化

紙資料のデータベース化により
資料の検索時間を短縮

工程の進捗状況を把握することで
社内フォロー体制を強化



Googleカレンダーで工程管理



Excelを用いた受注一覧

従来の課題

- ・紙ベースでの書類保管により過去の資料を見つけるのに時間を要していた

当社が扱う計測器の校正結果を示す「校正証明書」は定期的な更新が義務付けられていますが、発行タイミングがバラバラであり製品の点数も多く、創業以来の紙資料が倉庫に眠っており、その管理にも限界を感じていました。

顧客から問い合わせがあったときなどに該当する資料を探し出す時間や負担感も大きく、閲覧後のファイリングの間違いなどによる書類の紛失も問題になっていました。

取組概要と実施効果

- ・Microsoft Accessで製品情報データベースを構築し、検索時間を短縮
- ・Googleカレンダーを工程管理や日報として活用

そこで、Microsoft ExcelやAccessを活用しデータベースを構築、十数年分の製品情報をデータ化しました。図面は受注番号、型式の他、製品に関連するキーワードで検索できるようにしています。これにより、従来はモノによっては探し出すのに数時間を要することもありましたが、データベースで検索することでその時間を5~10分に短縮できました。



保管図面により
スペースにも余裕がなかった

他分野でのDX化も進めており、Googleカレンダーを工程管理用に活用しています。全員の工程管理をGoogleカレンダーで共有することで、工程全体の進捗状況が把握しやすくなるとともに、担当毎に抱えている作業量がわかるので社員同士のフォローがしやすくなりました。他には、Excelを用いた受注一覧を相互参照することで出荷漏れを防いだり、作業時間が長くなってしまいう工程の問題点究明と改善に活用するなど、日々の業務効率化に役立てています。

また、カレンダーを日報代わりに使うことで稼働時間を見える化するとともに、業務負担に偏りが生じていないかを一目で確認できるようにしています。

企業情報

業種

製造業

事業内容

液体貯槽に於ける各種計測器の
開発、製造、販売

創業

1968年11月

代表者

代表取締役 五十嵐 崇

所在地

神奈川県川崎市高津区久地864-1

従業員数

15名

企業紹介

液面計・流量計・自動制御機器の専門メーカー。創業時より顧客が必要とする製品を開発し提供するという考えで、『チャレンジ精神』を忘れず取り組んでいる。

2016年には、独自の経営スタイルが評価され『神奈川県優良小規模企業者』として表彰された。



<https://www.wako-keisoku.co.jp/>

業務のDX化を進めるにあたり、既存のアプリケーションをうまく工夫して使うことで、初期投資を抑えながら着手し、使いこなしていく中から効果を見だし、汎用システムに展開していくなど段階を踏んで進めるよう留意しています。実際、データベース化、工程の見える化が進み、顧客との意思疎通が早くなることで受注率の向上にもつながっています。しかし、効率化・自動化を進めすぎると長年のものづくりで培った能力が失われてしまうことも懸念しています。機械やシステムを活用し効率化を進めると同時に、人間が考えることも続けていくことで、真の意味での「効率化」の達成につながると考えています。



代表取締役
五十嵐 崇